

## The Human 識者に聞く

平成27年8月、岐阜市民病院の清水克時医師がメリジャパンの3代目理事長に就任しました。清水理事長は、脊椎脊髄外科のスペシャリストとして、長年に亘り一線でご活躍され、現在は、岐阜市民病院の整形外科・脊椎センター長を務めております。就任にあたり、清水理事長に、ご自身のキャダバー・トレーニングとの出会いや思い、これからのメリジャパンの活動について語っていただきました。

## 日本の文化に適合した キャダバー・トレーニングをめざして

岐阜市民病院 整形外科・脊椎センター長

### 清水克時

1948年生まれ、専門は脊椎脊髄外科。1973年京都大学医学部卒業。京大助教授を経て1996年から岐阜大学整形外科教授。2013年から現職、岐阜大学名誉教授。他に日本整形外科学会理事、日本脊椎脊髄病学会理事、国際整形外科学会日本代表、WHO ICD-11改訂委員会筋骨格系副責任者、日本小児整形外科学会理事長などを歴任。



10年前、初代理事長である蜂谷裕道先生から、日本にキャダバー・トレーニングのシステムをつくりたいので協力してほしいという申し出をいただきました。私をはじめキャダバー・トレーニングを見たのは、米国のメイヨークリニックに留学中(1985-6年)のことでした。整形外科の研修医は関節外科、手外科、脊椎外科など複数の専門分野を数カ月ずつ順に回って研修をするのですが、各分野の修練に入る前に、キャダバーを使った外科手技のトレーニングを受けていました。関節外科の修練の前には股関節や膝関節、手外科の前には手や肘の解剖というふうにご遺体を用いて手術を学ぶのです。キャダバー・トレーニングの威力を感じた私は、その後、自分自身が新しい手術手技を学ぶたびに、ヨーロッパや米国のキャダバー・トレーニングに出かけました。

この頃、日本の移植医療は大きく転換しました。遅々として進まない移植医療の現状にしぶれをきらして、海外に渡航して移植を受ける人が増加してきたからです。世界的な臓器不足と国境を越える不正な臓器売買を憂慮したWHOが、「臓器移植は自国内で行うべき」という指針を出しました。これに呼応して、2009-10年に改正臓器移植法が施行されました。キャダバー・トレーニングが日本になかなか定着しないことと移植医療の流れには共通点があるよう

に思います。それは文化の壁です。

最近私は、タイのチュラロンコン大学で、キャダバー・トレーニングの講師を務めました。タイは国民の90%以上が仏教を信仰する仏教国です。このトレーニングセンターは、あらゆる近代的な設備を備えながら、仏教の影響がたいへん色濃い施設です。同じ仏教国なのに、タイではどうしてこんなにキャダバー・トレーニングが定着しているのでしょうか？ タイの仏教は日本の大乘仏教とは異なる、上座仏教(小乗仏教)です。仏教学者の佐々木 閑氏によると仏教における「利他」には2つの概念があるそうです。大乘仏教の利他では、「自己犠牲」の概念が重要ですが、上座仏教の利他では「後進の指導」、教育とそのシステムが重要です。上座仏教と大乘仏教は異なった利他の概念で動いている。私はこの違いにカギがあるのではないかと考えています。

最近、渡航移植を禁じるのと同じように、日本の外科医が渡航してキャダバー・トレーニングを受けることを許可しない国が現れました。しかし、チュラロンコン大学のトレーニングセンターは教育を尊ぶ利他の精神で、いまも外国からの研修を快く受け入れています。誰にも自己犠牲を強いることなく、正当な報酬を受け取って持続的に運営されています。しかし、いつまでもこのご厚意に甘えてはいけません。

蜂谷先生が10年も前に、日本にも独自のキャダバー・トレーニングシステムが必要であると見抜かれたのは卓見だと思います。蜂谷理事長、糸満理事長が技術・科学優先の近道を進むのではなく、市民公開講座やメディアを利用した広報・啓発活動を重視し、キャダバー・トレーニングを文化として定着させようとしてこられた路線は、回り道のようにも見えますが間違っていない。この10年間で達成できた成果を踏まえ、日本の文化に適合したキャダバー・トレーニングをめざしたいと思います。

## 「不老会の集い」開催のご案内

献体ボランティア団体の公益財団法人不老会にて、「不老会の集い」が開催されます。不老会とは、50年以上の歴史を持つ日本最大の献体ボランティア組織で、愛知県を基盤に47の地区組織があります。

「不老会の集い」は、その集まりでも最大のもので、名古屋とその周辺地区の会員を中心に、献体に関心のある方が集まり、交流を深めています。会員だけでなく、一般の方の参加も可能で、昨年は約800名の方が参加しました。

今回の集いでは、メリジャパンの活動にもご協力くださっている、名古屋市立大学 統合解剖学分野教授 植木孝俊先生によるご講演「未来医療と、その担い手としての不老会」と琉球舞踊のアトラクションが予定されています。

献体について、そして未来の医療への貢献にご興味のある方はぜひご参加ください。

日時	2015年10月14日(水) 13:30～
場所	名古屋市公会堂(名古屋市昭和区鶴舞1-1-3)
参加 申込 方法	電話かFAXにて不老会へお申込みください。後日届く入場整理券をお持ちの上、ご来場ください。 不老会事務局電話・FAX：052-203-4580 ※FAXでのお申込みの場合は、①ご参加者氏名 ②ご住所 ③お電話番号をご記入ください。
申込締切	9月15日(火)

## 12月に「脊椎MIS Cadaver seminar 2015」を開催します。

本年1月に引き続き、12月12日(土)・13日(日)に札幌医科大学にて、MIS-TLIF/PLIF、XLIFをはじめとするMIS手技をキャダバーにて学んでいただくセミナーを開催します。詳細は、メリジャパン事務局(052-751-8197)までお問い合わせください。

## 会員募集・ワンコイン募金のご案内

メリジャパンでは、私たちの趣旨にご賛同いただける方に会員登録・寄付などをお願いしております。詳細は、別紙案内書をご覧ください。

### 編集 後記

この度メリジャパンの理事長が交代しました。新体制のもと、これまでと同じように活動を進めてまいります。

今回、名古屋の篤志献体団体である「不老会」の行事のお手伝いをさせていただくことになりました。関心がおありの方には是非ご参加をしていただけたらと思います。今年の12月、1月に行った手術手技セミナーの2回目を札幌医科大学で行います。また名古屋市立大学でもトレーニング等ができる施設が近々完成し、来年度から本格的に運用される予定です。

メリジャパンとしてできる限りのご協力をさせていただくことを大学にお伝えしています。メリジャパンの活動もいよいよ本格的になってきました。私たちの活動をもっと広く知っていただけるよう活動を続けてまいります。皆さまにはこれまでと変わらぬご支援をお願い申し上げます。(O)



**MERI Japan**

### ●お問い合わせ先

特定非営利活動法人メリジャパン

〒464-0821 名古屋市千種区末盛通2-4 はちや整形外科病院内

電話 052-751-8197 E-mail meri\_info@hachiya.or.jp

URL <http://www.merijapan.org>